

Youth Center News

広島市青少年センターだより

発行：(公財)広島市文化財団
広島市青少年センター
広島市中区基町5番61号
<http://www.y-center.jp/>



令和4年8月15日発行

講座・イベント情報

8/9月の休館日 毎週火曜日 (8/2.9.16.23.30.9/6.13.20.27) 祝日の翌日 (8/12.9/21.24)

「紙屋町まちかどピアノ」スペシャルウィーク♪

期間限定でいつもとは違う場所で、ストリートピアノをお楽しみ。

■日時 8/28(日)13:00~13:45

■場所 紙屋町シャレオ北広場

■出演者 なな&もも

青少年センターでは市内各所で不定期に、イベントを開催しています♪出演・参加を希望されるグループは、センターへ申し出てください。



= 講座・イベント申し込み方法 =

電話、FAX、E-mail で氏名、年齢、電話番号を添えて青少年センターにお申し込みください。参加費は事業の初回にお持ちください。

TEL/082-228-0447 FAX/082-228-7074

E-mail/y-center@cf.city.hiroshima.jp

※申し込みの際にお知らせいただいた氏名、年齢、連絡先等の個人情報は、当人の許可なく事業以外の目的では使用しません。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、催しなどが中止となる可能性があります。その際は申込者に直接ご連絡します。

= お得な情報をいち早く =

○公式 LINE



○公式 Facebook



○公式 Twitter



オンラインこねら Café~ともだちネット~

「ドライフラワー」

Zoomを使ったワークショップを行います。

■日時 9/3(土)14:00~16:00 入室 13:30~

■場所 ご自宅

■参加費 無料

■定員 5人 (先着) 小学生は保護者同伴。見学のみも OK

■申込み ①8/29(月)まで

②青少年センターから招待メールと、用意していただく材料などの説明書を送ります。

ロビー劇場

青少年センターロビーで行う若きアーティストによるフリーライブです。出演者募集中!

■日時: 9月10日(土) 開場 17:30、開演 18:00



次世代のための郷土愛醸成プロジェクト

~カープと市民の物語伝承プロジェクト~

カープ球団史を学ぶ講義伝承イベントを考えるワークショップとその企画・運営をします。

■日時 ① 9月17日(土) 9:30~12:30

② 10月15日(土) 10:00~18:30

■場所 ①青少年センター、②紙屋町シャレオ北広場

■対象 高校生・大学生及びその年齢相当~25歳まで

■定員 30人 (先着)

■申込み 前日までに青少年センターへ電話で申込み



川を眺めることで見えてくるものとは 川×アート

■日時 9月25日(日)13:00~15:30

■内容 写真が紡ぐ川の物語

■講師 写真家 藤岡亜弥さん

■場所 青少年センター

■対象 ①小学生 1~6年生 20組 (保護者同伴)

※ 定員を超えた場合は抽選

②オンライン聴講のみ小学生 1~6年生、先着 50人

■参加費: ①1,000円 ※当日徴収、

②オンライン聴講は無料

■申込み 9月16日(金)まで



大盛況! 拓郎フェスティバル



7月16日(土)・17日(日)に拓郎フェスティバルを開催しました!

全国16都道府県、北は北海道、南は福岡までの全58バンド延べ130名以上の方に出演していただき、2日間で1000人を超える観客に、足を運んでいただきました。

出演者は皆、吉田拓郎氏をこよなく愛するアマチュアミュージシャンで、かつて拓郎氏がフォーク村の開村式で、実際に歌ったことがある青少年センターのホールは、ファンにとっては聖地であり、そのステージに立てたことに、とても感動していました!

来場者からは、「照明と全てがプロ並みのステージで驚いた。大満足!」、「来年も開催して欲しい。」など、沢山のコメントをいただき大盛況のまま2日間を終えました。

次回の「交流スペースすきっぷ♪はうす」は8/20(土)です。

毎月第3土曜日のすきっぷ♪はうすでは、読書会を行っています。

その中で紹介された本の中から、至極の1冊をチョイス!

『この世界の片隅で上・中・下』こうの史代著

上中→2008年刊、下→2009年刊 双葉社刊

センターだより9月号が発行される8月15日は、終戦記念日と重なることもあり、平和を考える意味を込めてこの本を取り上げました。映画や実写ドラマで描かれていなかった場面も数多く描かれています。

主人公のすずさんを軸に、生まれ育った広島市でのエピソードから始まります。すずさんの両親、要一兄ちゃん、妹のすみちゃん、叔父さん、叔母さん、お祖母ちゃんたちとともにノリ養殖の手伝いをして、学校に行き、合間に大好きな絵を描くことを楽しみにしている8歳くらいの子供が生き生きと描かれています。

時は過ぎ、昭和18年12月、成人になったすずさんに結婚の話がきます。誰ひとり知らない呉市に嫁ぎ、新しい生活が始まりますが、同時に戦争の足音が日に日に大きくなってきます。好きな絵を描いていたスパイ行為とみなされたり、食べ物配給制となり、空襲警報が鳴り、大事な人が亡くなり...

戦争は、日常生活が非日常となり、そのことがとても悲しく、苦しく、恐ろしいことなんだと教えてくれます。

今仕事をしたり、学校へ行ったり、友達や家族とともに過ごす時間がある当たり前の生活を、これからもずっと続けていくために、私達ができることを考えてみませんか?

(今月のおすすめ人: もふもふ)

